

たわらしょうがっこう がくりよく  
**【田原小学校の学力について 令和5年度実施各テスト結果より】**

こうがくねん じっし てすと けっか で こんかい けっか ほんこうきょうしよくいん ぶんせき  
 高学年が実施しました3つのテストの結果が出ました。今回はその結果と本校教職員が分析した  
 ないよう しょうかいがい  
 内容を紹介します。



**1 NRT (全国標準学力検査) <市が実施>**

- ① 実施日 令和5年4月14日(金)  
 ② 対象学年 4, 5, 6年生 ③ 実施教科 国語、算数、理科  
 ④ 結果 下表のとおり ※全国の学力偏差値を50として比較します。

年度	R 3年	R 4年	R 5年	前年度比
現4年			47.7	—
現5年		46.9	45.6	-1.3
現6年	50.0	50.5	48.1	-2.4

年度	R 3年	R 4年	R 5年	前年度比
現4年			48.8	—
現5年		46.8	45.1	-1.7
現6年	50.2	50.7	48.2	-2.5

年度	R 3年	R 4年	R 5年	前年度比
現4年			47.1	—
現5年		48.0	47.1	-0.9
現6年	49.4	52.1	50.9	-1.2

年度	R 3年	R 4年	R 5年	前年度比
現4年			48.0	—
現5年		46.0	45.2	-0.8
現6年	50.4	48.6	45.1	-3.5

**2 全国学力・学習状況調査 <国が実施>**

	R5		
	国語	算数	平均
対全国比	0.997	0.928	0.964
前年度比	0.067	-0.085	-0.007

- ① 実施日 令和5年4月18日(火)  
 ② 対象学年 6年生  
 ③ 実施教科 国語、算数、理科、児童質問紙  
 ④ 結果 右表のとおり ※全国を1としたときの本校の正答率です。

**<児童質問紙>**

● 肯定的回答の上位5項目 (全国と差異)

順位	全国との差	番号	ベスト5 (田原小) 質問内容
1	5.5	(国2)	解答時間は十分でしたか (国語)
2	4.1	(算2)	解答時間は十分でしたか (算数)
3	1.7	(20)	学校の授業時間以外に、普段 (月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか (電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)
4	1.0	(22)	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか (雑誌、新聞、教科書は除く)
5	0.8	(29)	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

● 肯定的回答の下位5項目 (全国との差異)

順位	全国との差	番号	ワースト5 (田原小) 質問内容
1	-27.0	(32)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
2	-22.9	(39)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
3	-22.3	(36)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
4	-20.9	(6)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
5	-18.3	(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか

**3 すくすくウオッチ <大阪府が実施>**

- ① 実施日・対象学年 令和5年4月18日(火)～19日(水) 5, 6年生  
 ② 実施教科 (5年生) 国語、算数、理科、わくわく問題、児童アンケート



(6年生)理科(今年度より実施)、わくわく問題、児童アンケート

※教科横断型の問題とは、文章や絵、図、表、グラフ、ホームページなどを読んで、自分の考えを書くなどの問題。

③ 結果 下表のとおり ※大阪府を1としたときの本校の正答率です。

5年生	平均正答率
	(対府比)
国語	0.946
算数	0.859
理科	0.868
わくわく	0.852

6年生	平均正答率
	(対府比)
理科	1.011
わくわく	1.012



各テスト結果については、数字だけを単純に比較すると下降している箇所がありますが、詳細を分析する中で成果が見られた箇所がたくさんあります。

4 分析 (◇/成果 ◆/課題)

◇国語に関しては、これまで3年間の国語科での校内研の「読むこと」に関する取組みや「読書推進」の取組みを学校で取り組んできたことが、よい結果につながっている。

◇算数については、数と計算の領域の習得率・高いのが強み。低学年から計算ドリル・スキルなどの問題演習の積み重ねがあることが要因と思われる。

◇理科については、実験や実体験をすると習得率が高いこと。やはり実際に目の前で確認したり検証したりすることは大切。

◇国語科において、記述式の問いに対して解答できるようになっている(対全国比+2.1)。

これまでの国語科での校内研究を通して、読み取りや書く力が高まっている。

◇児童質問紙「タブレット活用の頻度」が高い(対全国比+0.8)。学習での活用が常態化し、児童が表現方法の選択ができるレベルになっている。ICT活用推進、環境整備など校内や市内の取組みの継続の成果と考えている。

◆全国学調で国語、算数ともに「解答時間が十分だった」との回答だが、算数においては結果が全国平均を下回っている。半ば諦めて答えている様子も受け取れることから、算数問題の長文を解く際に、粘り強く諦めない気持ちや国語でつけた力を他教科に汎用していける意識を持たせたい。

◆全国学調質問紙で「先生は分かるまで教えてくれているか」や「学校に行くのが楽しいと思うか」の回答が全国を下回っている。今後もより分かりやすく日常生活と連動させる授業づくりにつなげたい。また、授業などを通して子どもたちにとって学校に行くことが楽しく、先生が分からないときの的確に支援でき、自らの考えを安心して発表できる授業づくりや学級づくりが行えるような魅力ある学校づくりに努めたい。

◆算数における知識や用語の定着に課題がある。今後は既習事項の復習の機会を設けていく。A1ドリルを有効に活用し、自主的に復習に取り組める力を高めていきたい。

◆式や言葉で説明するような問いの正答率が低い。式や言葉、数値や表を使って説明や発表したりする学習を授業に取り入れていくことが必要である。今年度より、国語の研究の成果で付けた力の維持とともに、算数科での校内研究を開始し、授業改善に努めたい。加えて、今年度から取り組む「自発的な学習の取組み(けてふれ学習法)」やこれまで同様に「自主学習ノート」を活用しながら、子どもたちの自発的な学習意欲を高めていきたい。

これらの結果や分析を今後も本校全学年の教育活動に役立ててまいります。各ご家庭におかれましても、今後とも、本校取組みへのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。